学校番号	413

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ（教育図書）						
副教材等	硬筆レッスン帳　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道の授業は、手本をそっくりそのまま写すだけではありません。様々な作品を見たり書いたりすること、そして書の良さや価値について考えることを通して、鑑賞と表現の力を高めましょう。

１年生の授業では、書道で使用する用具用材の特性を知り、それを生かした表現について考えます。また、先人たちの優れた筆跡から学ぶ「臨書」を行うことで、基本的な筆遣いや表現方法について学びます。そして、自らの表現意図に基づいて作品を作る「創作」に繋げていきます。書くことを基点とした活動を通して、感性を高め、豊かに生きる力を育んでいきましょう。

２　学習の到達目標

書の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

書のよさや美しさを感受し、意図的に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式､書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき､作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書写から書道へ	・書道の学習内容 ・用具用材の使い方 ・基本姿勢 ・五書体(楷書、行書、草書、篆書、隷書)	a:文字の成立の過程や基本的な用具用材の扱い方について正しく理解している。 b:書表現の多様性について考え、その美やよさを味わい捉えたりしている。 c:学習内容について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ
	王義之の書とその周辺	・「蘭亭序」(行書)とその価値について	a:運筆の速度の変化や筆脈を理解し、行書の基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 b:「蘭亭序」のよさや価値を考え、その美を味わい深く捉えたりしている。 c: 学習を調整しながら、技術向上に向けた練習に粘り強く取り組もうとしている	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ
	楷書の成立	・楷書の古典の鑑賞と臨書 ・唐の四大家と書風の比較 「九成宮醴泉名」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「顔氏家廟碑」	a:用具用材の扱い方を正しく理解したうえで、文字の形を正しく捉え、筆の弾力を生かした用筆を理解し表現の技能を身に付けている。 b:楷書の基本的な用筆方法、全体の構成について構想し工夫している。 c: 学習を調整しながら、技術向上に向けた練習に粘り強く取り組もうとしている	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ
二学期	日本の書	・日本の書の鑑賞と臨書 ・「風信帖」とその価値について	a:運筆の速度の変化や筆脈を理解し、行書や草書の基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 b:「風信帖」のよさや価値について考え、味わい捉えたりしている。 c: 学習を調整しながら、技術向上に向けた練習に粘り強く取り組もうとしている	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ

	仮名の書	・仮名の成立 ・仮名の古筆臨書 「いろはうた」 「蓬莱切」 ・仮名の書の創作	a:筆の弾力を生かした仮名の用筆方法を身に付けている。 b:仮名の美やそのよさについて味わい捉えたりしている。 c: 学習を調整しながら、技術向上に向けた練習に粘り強く取り組もうとしている。	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ
三学期	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じり文の創作	a:用具用材を正しく用い、作品の意図を明確にするための表現の技法を身に付けている。 b:作品の意図や構想に基づき、表現を工夫している。 c: 学習を調整しながら、表現や鑑賞の活動に粘り強く取り組もうとしている	作品 レポート ワークシート	作品 レポート ワークシート	ワークシート ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度